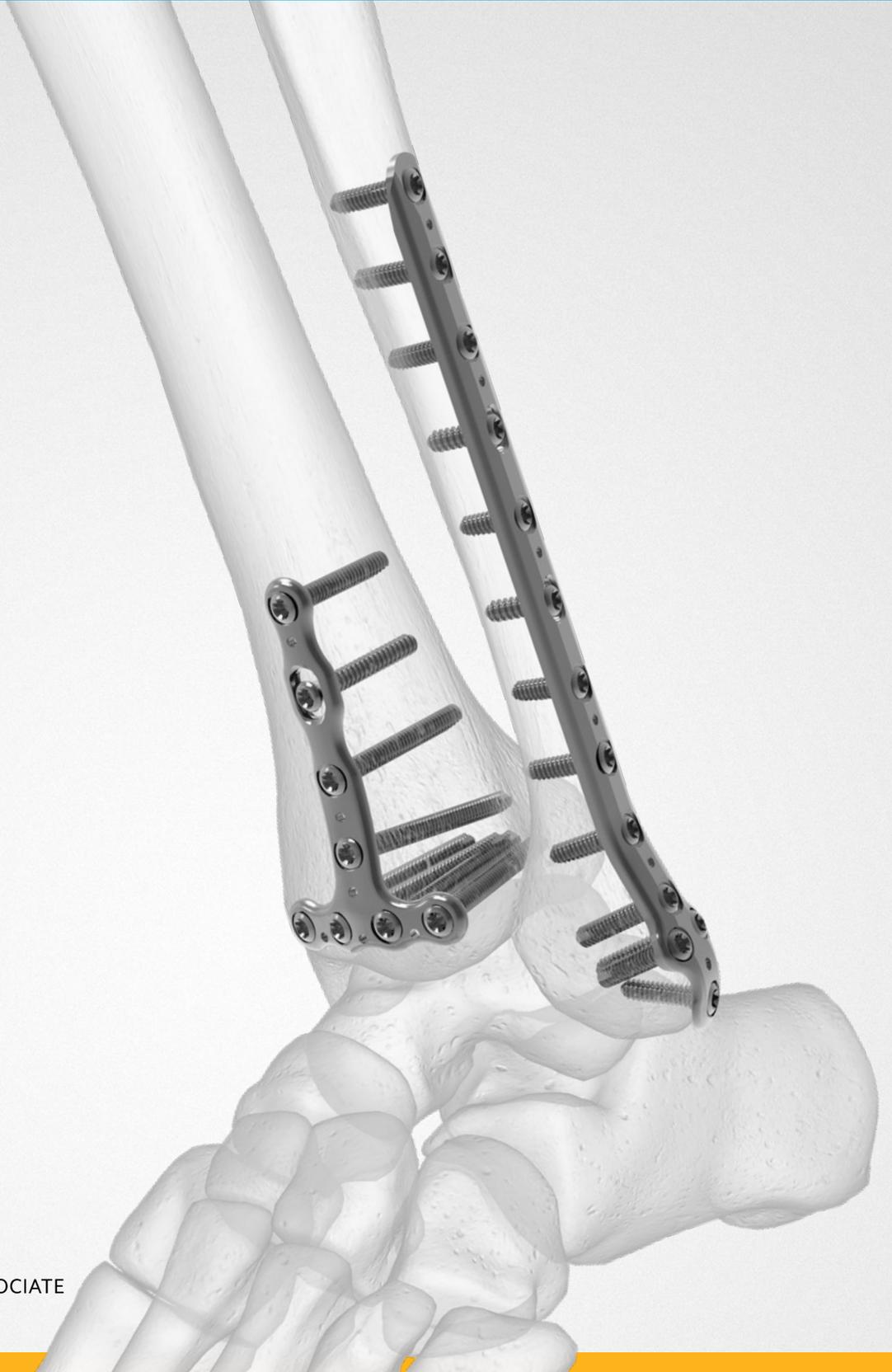


手術手技



Acumed® は革新的な整形外科 / 医療ソリューションのグローバル リーダーとして、

患者のケアを改善できる製品、サービス法、アプローチの開発に全力を注いでいます。



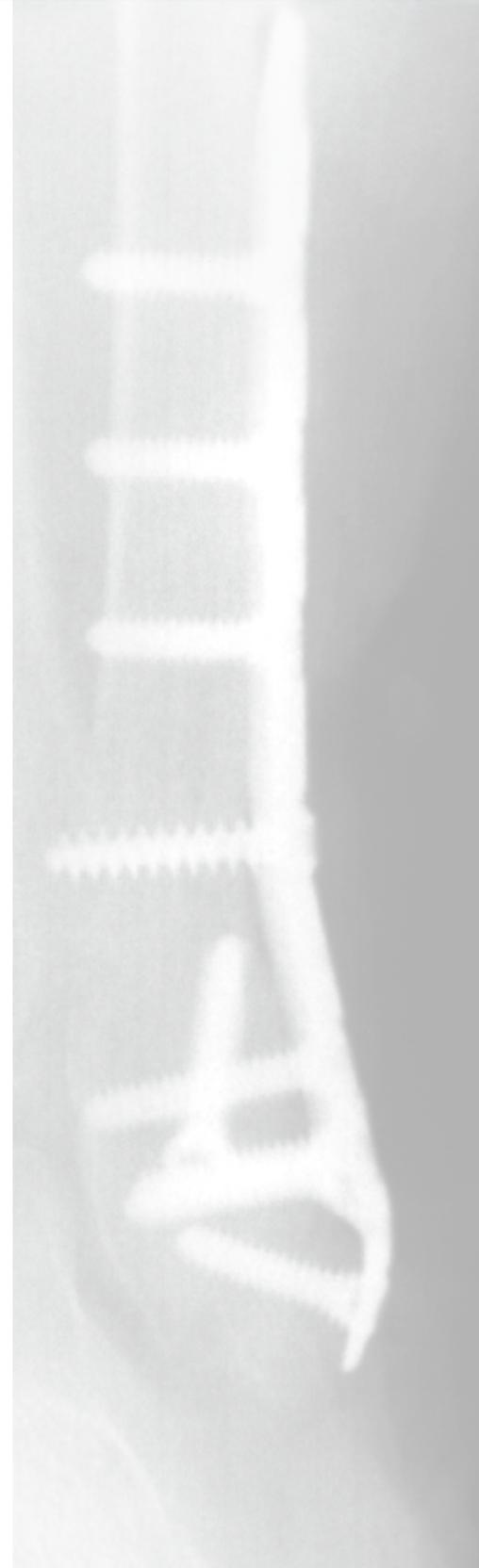
Acumed® Locking Ankle Plating System

Acumed Locking Ankle Plating System は脛骨と腓骨の骨折、骨の癒着、骨切り術の間角度を固定します。

システムは薄型になるように設計され、ロッキングネジとプレートの Type II 陽極酸化仕上げを含みます。

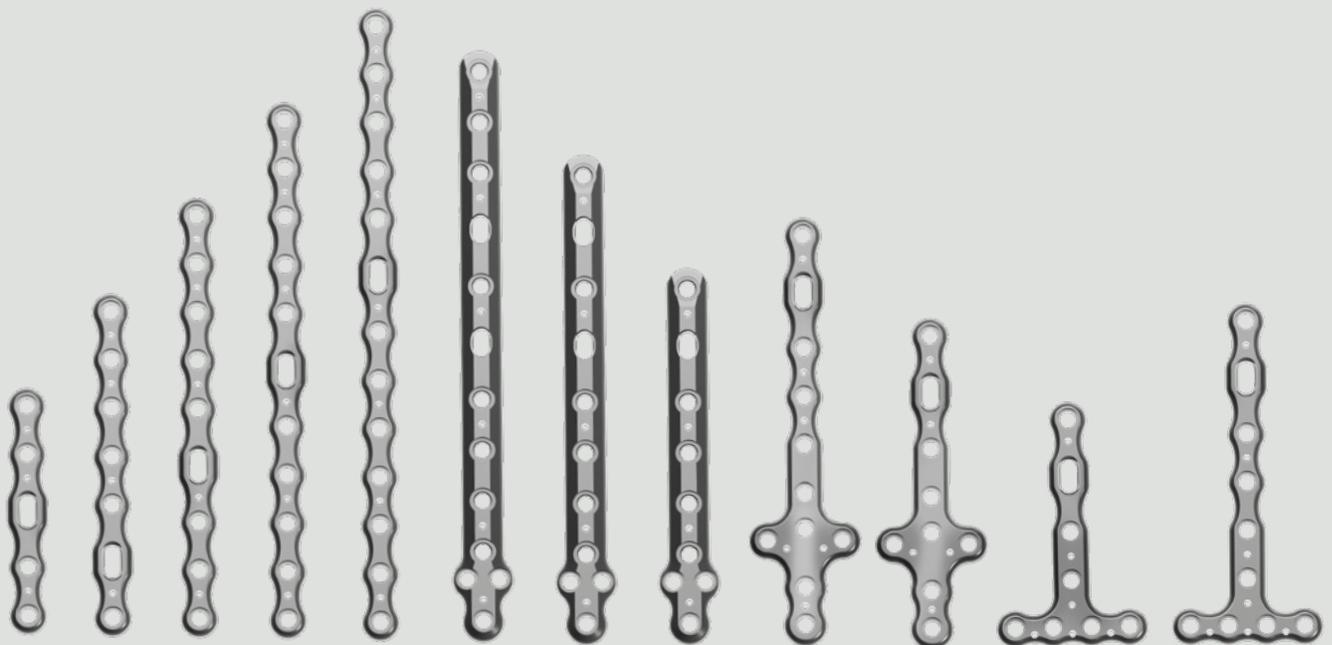
Locking Ankle Plating System は、Lower Extremity モジュラー システムのモジュラー コンポーネントです。Lower Extremity モジュラーシステムには、足と足首に適応するさまざまなインプラントと器具が収納されています。

	定義
警告	患者またはユーザーに対して深刻な転帰をもたらしかねない、極めて重要な情報が示されています。
注意	デバイスを適切に使用するために従うべき指示が示されています。
注記	特別に注意を払うべき情報が示されています。



目次

システムの機能	2
機器の概要.....	5
手術手技についての概要	8
手術手技.....	10
LPL およびロッキング腓骨外側プレート	10
LPL 脛骨前部プレート	14
LPL 脛骨内側プレート	18
ご注文情報.....	22



システムの機能

Locking Ankle Plating System には、次の固定用途向きに設計されたさまざまなサイズの薄型プレートがあります。

薄型ロックング (LPL) 腓骨外側プレート:

- ▶ 粉砕していない腓骨遠位骨折、骨切り術、癒着不能の内部固定

腓骨外側プレート:

- ▶ 腓骨遠位骨折、骨切り術、癒着不能の内部固定

薄型ロックング (LPL) 脛骨前部プレート:

- ▶ 粉砕していない脛骨遠位骨折、骨切り術、癒着不能の前部アプローチからの内部固定

薄型ロックング (LPL) 脛骨前部プレート:

- ▶ 粉砕していない脛骨遠位骨折、骨切り術、癒着不能の内部アプローチからの内部固定



ロックングとノンロックング ネジにより、外科医は 3.0 または 3.5 mm ヘックスローブと 4.0 mm 海綿ネジからの選択が可能になっています。これらのヘックスローブ ネジと一緒に使用するための関連するドリル、ロックングドリル、ドライバーは手術手技にリストされています。

注記:システムは、Acumed 2.7 mm ヘックスまたは 3.5 mm ヘックス ネジと合わせて使用することもできます。オプションのネジサイズを使用している場合、以下の一覧表を参照してください。

ネジ サイズとドライバー ドリル	クイック リリース ドリル
2.7 mm ヘックス HPC-0025 (短)	2.0 mm 80-0386 または HT-2502 (長)
3.5 mm ヘックス HPC-0025 (短)	2.8 mm 80-0387 または HT-2502 (長)
ロックング ドリル ガイド	
2.7 mm ヘックス	80-0385
3.5 mm ヘックス	80-0384

システムの機能 [続き]



7 穴 LPL 脛骨前部プレート
(70-0247)



5 穴 LPL 脛骨前部プレート
(70-0245)



7 穴 LPL 脛骨内側プレート
(70-0227)



9 穴 LPL 脛骨内側プレート
(70-0229)



9 穴 ロッキング 腓骨外側プレート
(70-0169)



11 穴 ロッキング 腓骨外側プレート
(70-0171)



13 穴 ロッキング 腓骨外側プレート
(70-0173)



13 穴 LPL 腓骨外側プレート
(70-0153)



11 穴 LPL 腓骨外側プレート
(70-0151)



9 穴 LPL 腓骨外側プレート
(70-0149)



7 穴 LPL 腓骨外側プレート
(70-0147)



5 穴 LPL 腓骨外側プレート
(70-0145)

システムの機能 [続き]

ネジのオプション

システムのネジ



3.0 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ
8 mm–26 mm
(30-02XX)



3.5 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ
8 mm–26 mm
(30-02XX)



3.0 mm ノンロッキング ヘックスローブ ネジ
8 mm–26 mm
(30-03XX)



3.5 mm ノンロッキング ヘックスローブ ネジ
8 mm–26 mm
(30-02XX)



4.0 mm 海綿 (ヘックス) ネジ
12 mm–60 mm
(CA-4XXX)

オプションの皮質 (ヘックス) ネジ



2.7 mm ロッキング皮質 (ヘックス) ネジ 8 mm–65 mm
(COL-2XXX)



3.5 mm ロッキング皮質 (ヘックス) ネジ 6 mm–65 mm
(COL-3XXX)



2.7 mm (ノンロッキング) 皮質 (ヘックス) ネジ 8 mm–65 mm
(CO-27XX)



3.5 mm (ノンロッキング) 皮質 (ヘックス) ネジ 6 mm–65 mm
(CO-3XXX)

機器の概要



鋸歯状顎付き整復用鉗子
(PL-CL04)



8インチ骨整復鉗子
(MS-1280)



骨整復鉗子 (尖頭付き)、5 幅
(MS-47135)



骨整復鉗子、5.25
(MS-45300)



小尖頭整復鉗子
(OW-1200)



ラジオ ペンチ、5.5
(MS-48245)



インゲ レトラクター、6.5
(MS-48217)



15 mm ホーマン レトラクター
(MS-46827)



8 mm ホーマン レトラクター
(PL-CL05)



フリーア起子、7.5
(MS-57614)



骨膜起子、7.25
(MS-46211)

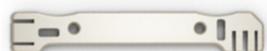


シャープ フック
(PL-CL06)

器具の概要 [続き]



プレート Bender、大
(PL-2045)



プレート Bender
(PL-2040)



皮質骨 / 海綿骨用カウンター
シンク
(PL-2080)



3.5 mm ネジ ドライバー スリーブ
(MS-SS35)



3.5 mm 皮質ネジ骨タップ
(MS-LTT35)



2.7 mm 皮質ネジ骨タップ
(MS-LTT27)



2.3 mm ロッキング ドリル ガイド
6 mm-65 mm
(80-0622)



2.3 mm クイック リリース ドリル
(80-0627)



T15 スティック フィット ヘックス
ローブ ドライバー
(80-0760)



0.062 インチ x 6 インチ ガイド
ワイヤー
(WS-1607ST)



0.045 インチ x 6 インチ シングル
トロカール用ガイド ワイヤー
(WS-1106ST)



プレート タック
(PL-PTACK)

器具の概要 [続き]



2.0 mm クイック リリース ドリル
(80-0386)



2.8 mm クイック リリース ドリル
(80-0387)



3.5 mm x 5 クイック リリース
ドリル
(MS-DC35)



2.5 mm クイック リリース
ヘックス ドライバー
(HPC-0025)



2.5mm 固体、クイック リリース、
ドライバー チップ
(HT-2502)



6 mm-70 mm 深さゲージ、
2 mm 増分
(MS-9022)



オフセット ドリル ガイド
(PL-2095)



2.8 mm/3.5 mm
薄型ドリル ガイド
(PL-2196)



2.0 mm/2.8 mm
薄型ドリル ガイド
(PL-2118)



2.8 mm ロッキング ドリル ガイド
6 mm-65 mm
(80-0384)



2.0 mm ロッキング ドリル ガイド
6 mm-65 mm
(80-0385)

手術手技についての概要

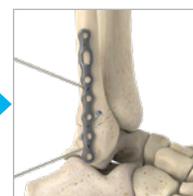
患者の体位と手術部位の露出



整復

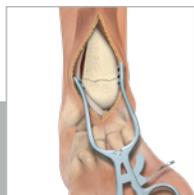


選定と配置



LPL腓骨プレートを用いた手術手技

露出とアプローチ



選定と配置

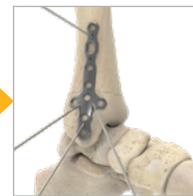


LPL 脛骨前部プレートを用いた手術手技

患者の体位と手術部位の露出



選定と配置

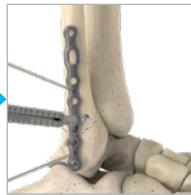


LPL 脛骨内側プレートを用いた手術手技

初期プレート
の固定



残りのネジの挿入



初期プレート
の固定



残りのネジの挿入



初期プレート
の固定

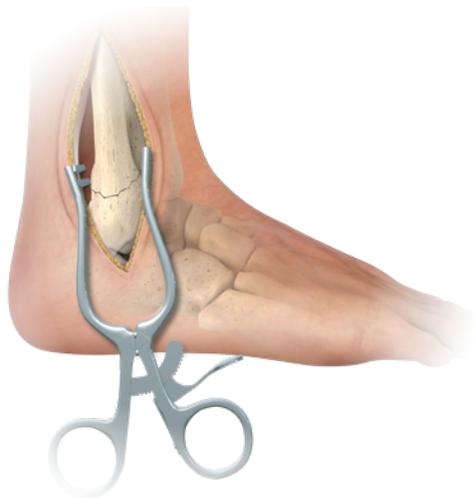


残りのネジの挿入



LPL およびロッキング腓骨外側プレートを用いた手術手技

図 1



1 患者の体位と手術部位の露出

患者を仰臥位にし、真っすぐに側方切開または後側方切開して、腓骨の骨折部を露出させます。適切な露出が得られたら、重要な軟組織構造に注意を払います。

図 2



2 整復

プレートを適用する前に、骨折を整復する必要があります。腓骨を整復するには、骨折片の先端で骨膜を 2 mm むきます。整復されたら、骨折片を一時的に固定します。長さや位置を維持し骨折部位全体を圧迫するために、ラグ ネジを配置します。

注意:ラグ ネジまたはネジは、プレート配置を妨げたり腓骨腱を刺激したりするような配置を避けることに注意を払う必要があります。

LPL およびロッキング腓骨外側プレートを用いた手術手技 [続き]

3 選定と配置

外側腓骨プレート (70-01XX) は、次の 2 つの方法で利用できます。5種類の長さ (5、7、9、11、13穴) の薄型ロッキング (LPL) および3種類の長さ (9、11、13穴e) のロッキング。プレートは外果に合わせて形成されます。

骨折線の近位にある約 3 つの穴 (6 つの皮質) 分のプレートを選択します。プレートの K ワイヤー穴は、プレート タック (PL-PTACK) または 0.062 インチ x 6 インチ K ワイヤー (WS-1607ST) で骨の表面を一時的に固定するのに役立ちます。



図 3



ロッキング腓骨外側
プレート
(70-01XX)



薄型ロッキング
(LPL) 腓骨プレート
(70-01XX)



プレート タック
(PL-PTACK)



0.062 インチ x 6 インチ
ガイド ワイヤー
(WS-1607ST)
K ワイヤーとしても使用

LPL およびロッキング腓骨外側プレートを用いた手術手技 [続き]



図 4



図 5

4 初期プレートの固定

骨の近くにプレートを圧迫するには、ノンロッキング ヘックス ロープ ネジ (30-0XXX) を、続いてロッキング ヘックス ロープ ネジ (30-02XX) を遠位骨幹端部の骨に配置します。ノンロッキング ネジの場合、選択したドリル ガイドを使用し、両方の皮質を通して穴を開けます。6 mm–70 mm の深さゲージ (MS-9022) を使用し、ネジをプレートに差し込みもつとも遠位の皮質をフックで留めることで、適切なネジ長を決定します。

患者の骨の質に基づいてネジ径を選定します。ロッキング ネジの場合、適切なロッキング ドリル・ガイドをネジの選定に基づいてプレートにねじ込みます。

3.0 mm ヘックスローブ ネジ	2.3 mm ロッキング ドリル ガイド 6–65 mm ネジ (80-0622)
3.5 mm ヘックスローブ ネジ	2.8 mm ロッキング ドリル ガイド 6–65 mm ネジ (80-0384)

ネジの選定に基づいて適切なドリルを使用します。

3.0 mm ロッキングおよびノンロッキング ヘックスローブ ネジ	2.3 mm クイック リリース ドリル (80-0627)
3.5 mm ヘックスローブ ネジ	2.8 mm クイック リリース ドリル (80-0387)

適切な深さまで穴開けし、ネジを挿入します。

オプション: ヘックス ネジを使用している場合、2 ページを参照して関連するドリルとドリル ガイドについてお調べください。



ノンロッキング ヘックスローブ ネジ (30-0XXX)



ロッキング ヘックス ロープ ネジ (30-02XX)



6 mm–70 mm 深さゲージ (MS-9022)



2.3 mm ロッキング ドリル ガイド 6 mm–65 mm (80-0622)



2.8 mm ロッキング ドリル ガイド 6 mm–65 mm (80-0384)



2.3 mm クイック リリース ドリル (80-0627)



2.8 mm クイック リリース ドリル (80-0387)

LPL およびロッキング腓骨外側プレートを用いた手術手技 [続き]

5 整復

骨折の整復と安定化を完了します。前述の通りに残りのネジを挿入します。

注記:外果が固定されたら、腓骨を外側に相互に牽引し蛍光透視法で直接観察することで、靭帯結合の完全性を確認できます。腓骨は、一般に損傷を受けていない脛腓靭帯と同様に脛骨の表面より前に固定されます。腓骨は、脛骨の内部伸延装置として機能できます。



図 6

6 縫合および術後プロトコール

縫合および術後プロトコールは外科医の裁量で決めます。



図 7

7 オプション:インプラントの取り外しに関する指示

インプラントを取り外すには、適切なドライバーを用いてネジを取り外します。

2.7 mm 皮質ネジと 4.0 mm 海綿ネジの場合、2.5 mm のクイックリリース ヘックス ドライバー (HPC-0025) を使用します。

3.0 mm と 3.5 mm ヘックスローブ ネジの場合、T15 スティック フィット ヘックスローブ ドライバー (80-0760) を使用します。



2.5 mm
クイック リリース
ヘックス ドライ
バー
(HPC-0025)



T15 スティック フィ
ット ヘックスローブ
ドライバー
(80-0760)

LPL 脛骨前部プレートを用いた手術手技

図1



1 露出とアプローチ

薄型ロッキング (LPL) 前方脛骨プレート (70-024X) アプリケーション用の推奨されるアプローチは足首の前面から縦に切開することです。中央の天蓋骨折の場合、長母趾伸筋 (EHL) と前脛骨筋腱の間を、足の背側面の上伸筋支帯の近位面の上から下伸筋支帯の遠位面まで蓋切開を行います。

注意: 浅腓骨神経の特定には、注意を払う必要があります。

EHL と前脛骨筋腱の間の伸筋支帯を、横に直線上に切開します。脛距関節のレベルで、腱を納めます。神経血管束を動かして収納します。天蓋の重量荷担面を露出するには、足首の鞘を切開します。

注意: 内果または外側腓骨を同時に固定する場合、創壊死を避けるために2つの切開部位は7 cm 以上離すように注意してください。さらに、創外固定器が固定の初期段階で利用された場合、患肢を準備する前に固定器を取り外してください。

注記: LPL 前部脛骨プレートは前外配置を意図したものではありません。



薄型ロッキング
(LPL) 脛骨前部プレート
(70-024X)

LPL 脛骨前部プレートを用いた手術手技[続き]

2 整復

プレートを適用する前に、骨折を整復します。関節を伸延する必要がある場合、創外固定器または層状スプレッダーを一時的に使用してください。関節面をそっと整復し、ボーンタンブ法で関節の上から所定の位置に配置します。

Kワイヤー (WS-1607ST または WS-1106ST) またはプレートの外部にあるラグネジで関節面を一時的に適切な位置で支えながら、透視下で適切なプレートを型として前方遠位脛骨面に配置します。

注記:LPL 前部腓骨プレート (70-024X) は、5 穴または 7 穴の、2 つの長さから選ぶことができます。プレートは前部脛骨に合わせて形成されます。プレートはプレートベンダー (PL-2040) または大型プレートベンダー (PL-2045) でさらに形成して、抗滑走関節周囲位置で遠位配置を可能にしたり、遠位対近位ネジ軌道を可能にしたり、またネジの関節内配置を避けることもできます。

注意:プレートを 2 回以上曲げたり、ロッキング穴を越えて曲げたりしないでください。

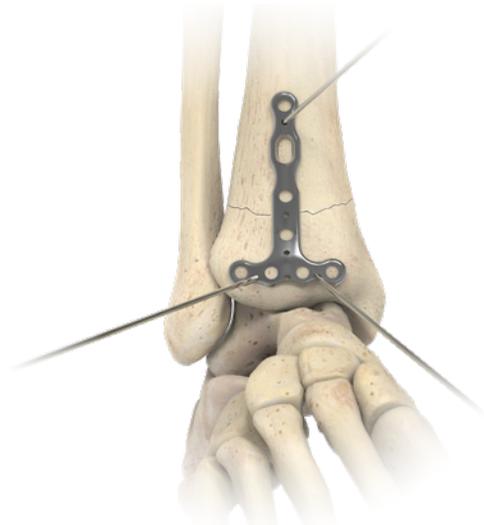


図 2

3 選定と配置

骨折線の近位にある約 3 つの穴 (6 つの皮質) である LPL 脛骨前部プレート (70-024X) を選定します。プレートの K ワイヤー穴はプレート タック (PL-PTACK) または 0.062 インチ x 6 インチ K ワイヤー (WS-1607ST) で骨の表面を一時的に固定するのに役立ちます。



0.062 インチ x
6 インチガイド
ワイヤー
(WS-1607ST)
K ワイヤーとしても使用



0.045 インチ x 6 イン
チ シングル トロカ
ー用ガイド ワイヤー
(WS-1106ST)
K ワイヤーとしても使用



LPL 脛骨
前部プレート
(70-024X)



プレートベン
ダー
(PL-2040)



プレートベン
ダー、大
(PL-2045)



プレート タック
(PL-PTACK)

LPL 脛骨前部プレートを用いた手術手技 [続き]

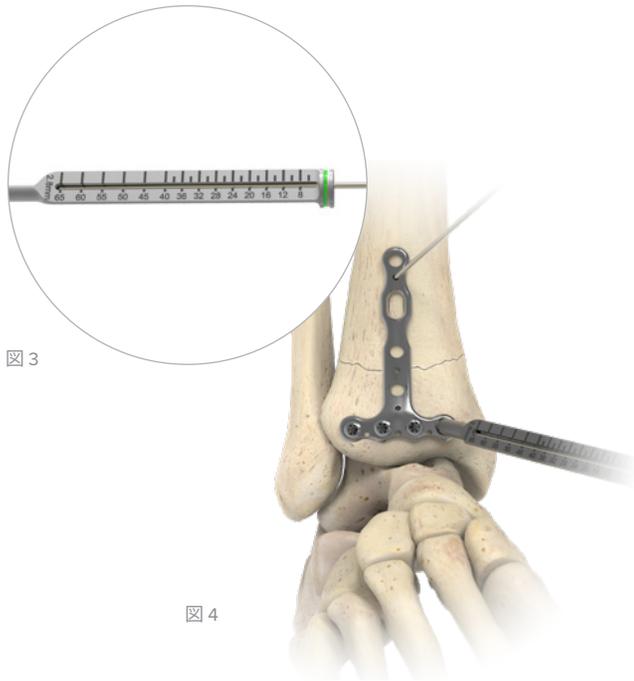


図 3

図 4

4 初期プレートの固定

プレートの配置と関節の整復が蛍光透視で確認されたら、もっとも遠位にある関節周囲と骨幹端部のネジを配置します。ノンロックングネジの場合、選択したドリルガイドを使用し、両方の皮質を通して穴を開けます。6 mm–70 mm の深さゲージ (MS-9022) を使用し、ネジをプレートに差し込みもっとも遠位の皮質をフックで留めることで、適切なネジ長を決定します。

患者の骨の質に基づいてネジ径を選定します。ロックングネジの場合、適切なロックングドリル・ガイドをネジの選定に基づいてプレートにねじ込みます。

3.0 mm ヘックスローブ ネジ	2.3 mm ロックングドリルガイド 6–65 mm ネジ (80-0622)
3.5 mm ヘックスローブ ネジ	2.8 mm ロックングドリルガイド 6–65 mm ネジ (80-0384)

ネジの選定に基づいて適切なドリルを使用します。

3.0 mm ロックングおよびノンロックング ヘックスローブ ネジ	2.3 mm クイックリリースドリル (80-0627)
3.5 mm ヘックスローブ ネジ	2.8 mm クイックリリースドリル (80-0387)

適切な深さまで穴開けし、ネジを挿入します。

オプション:ヘックスネジを使用している場合、2 ページを参照して関連するドリルとドリルガイドについてお調べください。



6 mm–70 mm 深さゲージ (MS-9022)



2.3 mm ロックングドリルガイド 6 mm–65 mm (80-0622)



2.8 mm ロックングドリルガイド 6 mm–65 mm (80-0384)



2.3 mm クイックリリースドリル (80-0627)



2.8 mm クイックリリースドリル (80-0387)

LPL 脛骨前部プレートを用いた手術手技[続き]

5 残っているネジの挿入

骨折の整復と安定化を完了します。前述の通りに残りのネジを挿入します。



図 5

6 縫合および術後プロトコール

縫合および術後プロトコールは外科医の裁量で決めます。

7 オプション:インプラントの取り外しに関する指示

インプラントを取り外すには、適切なドライバーを用いてネジを取り外します。

2.7 mm 皮質ネジと 4.0 mm 海綿ネジの場合、2.5 mm のクイックリリース ヘックス ドライバー (HPC-0025) を使用します。

3.0 mm と 3.5 mm ヘックスローブ ネジの場合、T15 スティック フィット ヘックスローブ ドライバー (80-0760) を使用します。



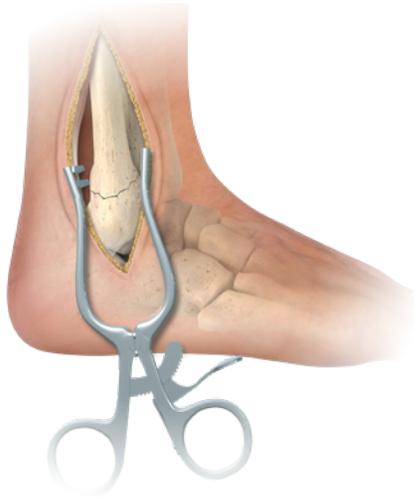
2.5 mm
クイック リリース
ヘックス ドライバー
(HPC-0025)



T15 スティック フィット
ヘックスローブ
ドライバー
(80-0760)

LPL 脛骨内側プレートを用いた手術手技

図1



1 患者の体位と手術部位の露出

患者を仰臥位にし、内方切開して脛骨の骨折部を露出させます。適切な体位と露出が得られた後は、重要な軟組織構造に注意を払います。

注意:脛骨前部または外側腓骨を同時に固定する場合、創壊死を避けるために少なくとも7 cm ごとに2つの切開を離すように注意してください。さらに、創外固定器が固定の初期段階で利用された場合、患肢を準備する前に固定器を取り外してください。

注記:LPL 脛骨内側プレート (70-022X) は脛骨骨幹骨折の固定用に設計されていません。

2 整復

プレートを適用する前に、骨折を整復します。一時的な創外固定器または層状スプレッターで関節を伸延します。脛骨近位からの骨移植片または合成カルシウム置換リン酸塩 (Callos®) で関節表面の上の空間を満たします。K ワイヤ (WS-1607ST または WS-1106ST) またはプレートの外部にあるラグ ネジで、関節面を一時的に適切な位置で支えます。この処置は、適切なプレートを透視下で内側遠位脛骨面に鑄型にしている間に行ってください。内果の先端を通してネジを軸方向に配置します。

注意:ネジは、プレート配置を妨げたり内果の垂直せん断骨折を不完全に整復したりするような配置を避けることに注意を払う必要があります。

注記:LPL 脛骨内側プレート (70-022X) は、7 および 9 穴の、2つの長さから選ぶことができます。LPL 脛骨内側プレートはプレートバンダーで形成して、抗滑走関節周囲位置で遠位配置を可能にしたり、遠位対近位ネジ軌道を可能にしたり、またネジの関節内配置を避けることができます。

遠位 K ワイヤは、プレート タックで骨の表面にプレートを一時的に固定するのに役立ちます。

注意:プレートを 2 回以上曲げたり、ロッキング穴を越えて曲げたりしないでください。



LPL 脛骨内側プレート (70-022X)



0.062 インチ x 6 インチガイドワイヤ (WS-1607ST) K ワイヤとしても使用



0.045 インチ x 6 インチ シングル トロカール用ガイドワイヤ (WS-1106ST) K ワイヤとしても使用

LPL 脛骨内側プレートを用いた手術手技[続き]

3 選定と配置

骨折線の近位にある約 3 つの穴 (6 つの皮質部) である LPL 脛骨内側プレート (70-022X) を選択します。プレートの K ワイヤ穴はプレート タック (PL-PTACK) または 0.062 インチ x 6 インチ K ワイヤ (WS-1607ST) で骨の表面を一時的に固定するのに役立ちます。

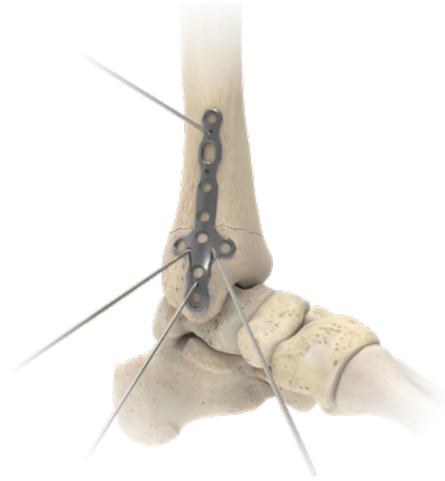


図 2



LPL 脛骨
内側プレート
(70-022X)



プレート タック
(PL-PTACK)



0.062 インチ x 6 インチ
ガイド ワイヤ
(WS-1607ST)
K ワイヤとしても使用

LPL 脛骨内側プレートを用いた手術手技[続き]

図 3

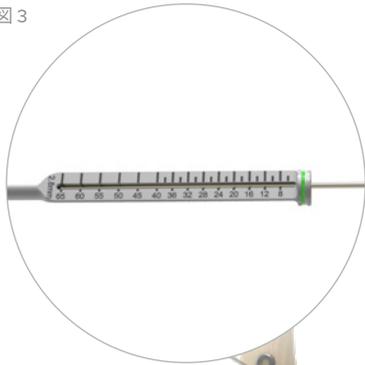
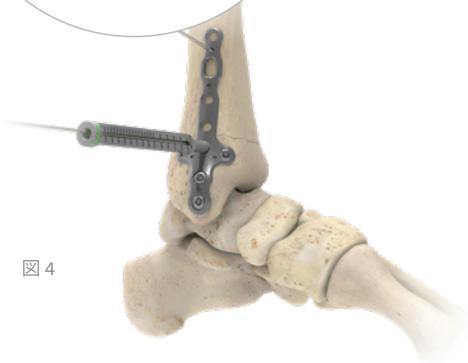


図 4



4 初期プレートの固定

プレートの配置と関節の整復が蛍光透視で確認されたら、もっとも遠位にある関節周囲と骨幹端部のネジを配置します。ノンロックング ネジの場合、適切なドリル ガイドを使用し、両方の皮質を通して穴を開けます。6 mm–70 mm の深さゲージ (MS-9022) を使用し、ネジをプレートに差し込みもっとも遠位の皮質をフックで留めることで、適切なネジ長を決定します。

患者の骨の質に基づいてネジ径を選定します。ロックング ネジの場合、適切なロックングドリル・ガイドをネジの選定に基づいてプレートにねじ込みます。

3.0 mm ヘックスローブ ネジ	2.3 mm ロックングドリル ガイド 6–65 mm ネジ (80-0622)
3.5 mm ヘックスローブ ネジ	2.8 mm ロックングドリル ガイド 6–65 mm ネジ (80-0384)

ネジの選定に基づいて適切なドリルを使用します。

3.0 mm ロックングおよびノンロックング ヘックスローブ ネジ	2.3 mm クイックリリースドリル (80-0627)
3.5 mm ヘックスローブ ネジ	2.8 mm クイックリリースドリル (80-0387)

適切な深さまで穴開けし、ネジを挿入します。

オプション: ヘックス ネジを使用している場合、2 ページを参照して関連するドリルとドリル ガイドについてお調べください。



6 mm–70 mm 深さゲージ (MS-9022)



2.3 mm ロックングドリル ガイド 6 mm–65 mm (80-0622)



2.8 mm ロックングドリル ガイド 6 mm–65 mm (80-0384)



2.3 mm クイックリリースドリル (80-0627)



2.8 mm クイックリリースドリル (80-0387)

LPL 脛骨内側プレートを用いた手術手技[続き]

5 残っているネジの挿入

骨折の整復と安定化を完了します。前述の通りに残りのネジを挿入します。



図 5

6 縫合および術後プロトコール

縫合および術後プロトコールは外科医の裁量で決めます。

7 オプション:インプラントの取り外しに関する指示

インプラントを取り外すには、適切なドライバーを用いてネジを取り外します。

2.7 mm 皮質ネジと 4.0 mm 海綿ネジの場合、2.5 mm のクイックリリース ヘックス ドライバー (HPC-0025) を使用します。

3.0 mm と 3.5 mm ヘックスローブ ネジの場合、T15 スティック フィット ヘックスローブ ドライバー (80-0760) を使用します。



2.5 mm
クイック リリース
ヘックス ドライバー
(HPC-0025)



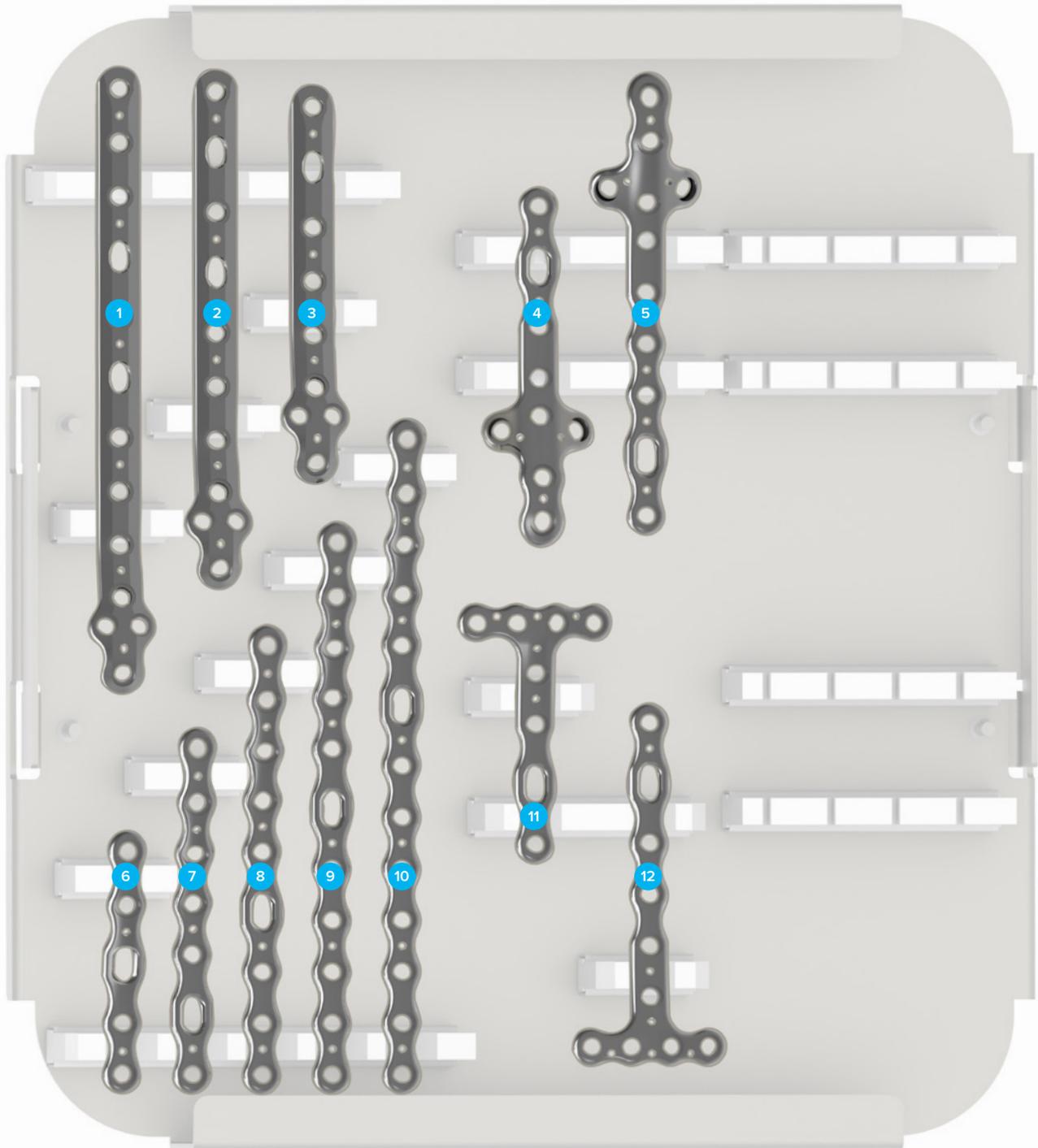
T15 スティック フィット
ヘックスローブ
ドライバー
(80-0760)

ご注文情報

トレーの構成部品

ロッキング足首プレート

1	ロッキング腓骨外側プレート 13 穴	70-0173	6	薄型ロッキング (LPL) 腓骨外側プレート 5 穴	70-0145
2	ロッキング腓骨外側プレート 11 穴	70-0171	7	薄型ロッキング (LPL) 腓骨外側プレート 7 穴	70-0147
3	ロッキング腓骨外側プレート 9 穴	70-0169	8	薄型ロッキング (LPL) 腓骨外側プレート 9 穴	70-0149
4	薄型ロッキング (LPL) 脛骨内側プレート 7 穴	70-0227	9	薄型ロッキング (LPL) 腓骨外側プレート 11 穴	70-0151
5	薄型ロッキング (LPL) 脛骨内側プレート 9 穴	70-0229	10	薄型ロッキング (LPL) 腓骨外側プレート 13 穴	70-0153
			11	薄型ロッキング (LPL) 脛骨前部プレート 5 穴	70-0245
			12	薄型ロッキング (LPL) 脛骨前部プレート 7 穴	70-0247



ご注文情報 [続き]

トレーの構成部品

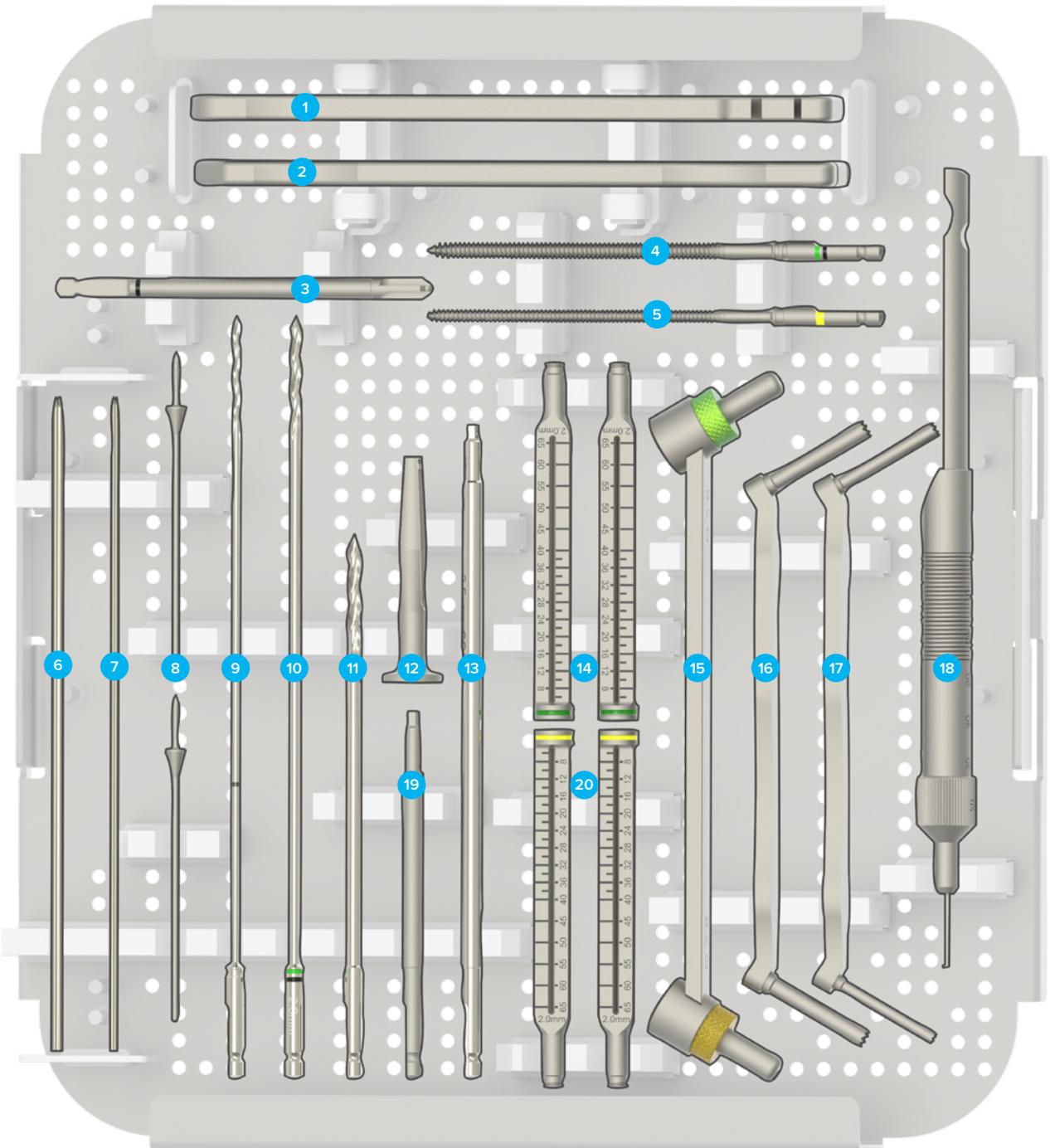
器具

1	プレート ベンダー、大	PL-2045	11	3.5 mm x 5 クイック リリース ドリル	MS-DC35
2	プレート ベンダー	PL-2040	12	3.5 mm ネジ ドライバー スリーブ	MS-SS35
3	皮質骨 / 海綿骨用カウンターシンク	PL-2080	13	2.5 mm クイック リリース ヘックス ドライバー	HPC-0025
4	3.5 mm 皮質ネジ骨タップ	MS-LTT35	14	2.5 mm 固体、クイック リリース、 ドライバー チップ	HT-2502
5	2.7 mm 皮質ネジ骨タップ	MS-LTT27	15	2.8 mm ロッキング ドリル ガイド 6 mm–65 mm	80-0384
6	0.062 インチ x 6 インチ ガイド ワイヤー*	WS-1607ST	16	オフセット ドリル ガイド	PL-2095
7	0.045 インチ x 6 インチ シングル トロ カール用ガイド ワイヤー*	WS-1106ST	17	2.8 mm/3.5 mm 薄型ドリル ガイド	PL-2196
8	プレート タック	PL-PTACK	18	2.0 mm/2.8 mm 薄型ドリル ガイド	PL-2118
9	2.0 mm クイック リリース ドリル	80-0386	19	6 mm–70 mm 深さゲージ、 2 mm 増分	MS-9022
10	2.8 mm クイック リリース ドリル	80-0387	20	2.0 mm ロッキング ドリル ガイド 6 mm–65 mm	80-0385

*K ワイヤーとしても使用

追加器具

2.3 mm ロッキング ドリル ガイド 6 mm–65 mm	80-0622
2.3 mm クイック リリース ドリル	80-0627
T15 スティック フィット ヘックスローブ ドラ イバー	80-0760



ご注文情報 [続き]

トレーの構成部品

器具

① 骨膜起子、7.25	MS-46211	⑦ 骨整復鉗子、5.25	MS-45300
② 鋸歯状顎付き整復用鉗子	PL-CL04	⑧ 小尖頭整復鉗子	OW-1200
③ 15 mm ホーマン レトラクター	MS-46827	⑨ フリーア起子、7.5	MS-57614
④ 8 mm ホーマン レトラクター	PL-CL05	⑩ シャープ フック	PL-CL06
⑤ 8インチ骨整復鉗子	MS-1280	⑪ ラジオ ペンチ、5.5	MS-48245
⑥ 骨整復鉗子 (尖頭付き)、5 幅	MS-47135	⑫ インゲ レトラクター、6.5	MS-48217

オプションの構成部品

器具

クイック リリース接続付き小ラチェット ハンドル	80-0398
インゲトラクター (歯なし)	80-0472
大カニューレ状クイック リリース ドライバー ハンドル	MS-3200
プレートホルダー の組立て	PL-2030

トレー

下肢システム ユーティリティトレー	80-0429
-------------------	---------



ご注文情報 [続き]

ネジ

3.0 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ

3.0 mm x 8 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0278
3.0 mm x 10 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0279
3.0 mm x 12 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0280
3.0 mm x 14 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0281
3.0 mm x 16 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0282
3.0 mm x 18 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0283
3.0 mm x 20 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0284
3.0 mm x 22 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0285
3.0 mm x 24 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0286
3.0 mm x 26 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0287
3.0 mm x 28 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0288
3.0 mm x 30 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0289
3.0 mm x 32 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0290
3.0 mm x 34 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0291
3.0 mm x 36 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0292
3.0 mm x 38 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0293
3.0 mm x 40 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0294
3.0 mm x 45 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0295
3.0 mm x 50 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0296
3.0 mm x 55 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0297

3.5 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ

3.5 mm x 8 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0232
3.5 mm x 10 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0233
3.5 mm x 12 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0234
3.5 mm x 14 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0235
3.5 mm x 16 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0236
3.5 mm x 18 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0237
3.5 mm x 20 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0238
3.5 mm x 22 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0239
3.5 mm x 24 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0240
3.5 mm x 26 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0241
3.5 mm x 28 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0242
3.5 mm x 30 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0243
3.5 mm x 32 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0244
3.5 mm x 34 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0245
3.5 mm x 36 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0246
3.5 mm x 38 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0247
3.5 mm x 40 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0248
3.5 mm x 45 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0249
3.5 mm x 50 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0250
3.5 mm x 55 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0251
3.5 mm x 60 mm ロッキング ヘックスローブ ネジ	30-0252

ご注文情報 [続き]

ネジ	
3.0 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	
3.0 mm x 8 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0301
3.0 mm x 10 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0302
3.0 mm x 12 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0303
3.0 mm x 14 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0304
3.0 mm x 16 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0305
3.0 mm x 18 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0306
3.0 mm x 20 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0307
3.0 mm x 22 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0308
3.0 mm x 24 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0309
3.0 mm x 26 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0310
3.0 mm x 28 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0311
3.0 mm x 30 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0312
3.0 mm x 32 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0313
3.5 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	
3.5 mm x 8 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0255
3.5 mm x 10 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0256
3.5 mm x 12 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0257
3.5 mm x 14 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0258
3.5 mm x 16 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0259
3.5 mm x 18 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0260
3.5 mm x 20 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0261
3.5 mm x 22 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0262
3.5 mm x 24 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0263
3.5 mm x 26 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0264
3.5 mm x 28 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0265
3.5 mm x 30 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0266
3.5 mm x 32 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0267
3.5 mm x 34 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0268
3.5 mm x 36 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0269
3.5 mm x 38 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0270
3.5 mm x 40 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0271
3.5 mm x 45 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0272
3.5 mm x 50 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0273
3.5 mm x 55 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0274
3.5 mm x 60 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0275
3.5 mm x 65 mm ノンロックング ヘックスローブ ネジ	30-0276

ご注文情報

ネジ

4.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ

4.0 mm x 12.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4120	4.0 mm x 28.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4280
4.0 mm x 14.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4140	4.0 mm x 30.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4300
4.0 mm x 16.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4160	4.0 mm x 35.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4350
4.0 mm x 18.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4180	4.0 mm x 40.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4400
4.0 mm x 20.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4200	4.0 mm x 45.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4450
4.0 mm x 22.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4220	4.0 mm x 50.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4500
4.0 mm x 24.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4240	4.0 mm x 55.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4550
4.0 mm x 26.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4260	4.0 mm x 60.0 mm 海綿骨用ヘックスローブ ネジ	CA-4600

注記: Acumed の革新的外科手術ソリューションのフルラインナップについては、お取引の Acumed 公認販売代理店（電話番号：888.627.9957）にご連絡を頂くか、またはウェブサイト www.acumed.net をご覧ください。



Acumed本社
5885 NE Cornelius Pass Road
Hillsboro, OR 97124
営業所: +1.888.627.9957
営業所: +1.503.627.9957
ファックス: +1.503.520.9618
www.acumed.net

本書に記載されている製品は、国によっては利用できないか、別の商標で利用されている場合があります。これらの製品は、国によっては法規制機関により異なる適応または制限付きでの販売または利用が承認または許可されている場合があります。これらの製品は、国によっては使用が承認されていない場合があります。本書の記載内容はいずれの部分も、読者が居住する国の法規制で許可されていない特定製品、または許可されていない使用方法での特定製品の使用を促進または宣伝するものではありません。本書に記載されている製品の利用可能性や使用方法について質問をお持ちの医師の方は、お取引の Acumed 公認販売代理店にお尋ねください。本書に記載されている製品の使用方法、または自分の病状に対する適応性について質問をお持ちの患者の方は、ご自分の担当医師にお尋ねください。

JALEX00-04-B | 発効日:2018/05 | © 2018 Acumed® LLC